

映画「君の笑顔に会いたくて」はこんな手順で上映が実現します

STEP 1 まず相談

この映画の上映をして、地域の方々に支えあいの心を届けたい・・・と思われたら、**まず、裏面の各担当配給社にご連絡ください。**
担当者がおうかがいして、上映の実現に向けて相談にのり、一緒に準備をしていきます。

- 上映主催者は？ 地域で賛同する人々が手をつないだ「上映実行委員会」が一般的ですが、単独の団体での主催もできます。
- いつ？ 準備にかかる期間を考慮して、無理のない日程を設定していきます。通常、1日の上映で、1～3回の上映ができます。
- どこで？ それぞれがお住まいの地域の、文化センター、公民館、市民会館などの公共施設を使用します。
- 観客の数は？ 事前に主催者と配給社で相談しながら、観客数の目標を決めてスタートします。これまでの例では、市で700～1000名、町村で300～500名の設定が多いです。
- 料金は？ 前売り券（一般・シニア・大学生）1,100円
当日券 一般・シニア1,500円 大学生1,300円 中高生800円
- 上映経費は？ 上映にかかる、会場費、映写機材、技師料、チラシ・チケット印刷などの経費は、配給社が負担します。観客数が目標に達しなくても、主催者側に赤字の負担が生じることはありません。

STEP 2 上映実現に向けて

上映計画が決ったら、実行に移ります

- 主催団体づくり 「上映実行委員会」を発足させます
- 会場押さえ 主催者の方で、上映実行委員会で決まった日時で会場の予約をしていただきます。会場費は配給社が負担します。
- 前売り券の販売活動 配給社の方で、チケット・チラシの印刷をします。主催者の方では前売り券の販売をしていただきます。

STEP 3 当日運営

いよいよ 上映を迎えます

- 上映当日体制 上映当日は分担して受付を行います。
- ごあいさつ この上映会は商業映画の上映とは違います。上映前に主催者側のごあいさつをして、上映の趣旨をお伝えしましょう。
- 上映協力金 上映終了後、上映総収入の5%を上映協力金として主催者にお支払いします。この使い道は実行委員会で話し合っ決めていただきます。